

明日のヨコハマを考えるつどい **分科会** 日程

2月15日(日)13時30分～

第1分科会 「環境・まちづくり」 ハマのムダ遣いウォッチング

介護保険料値上げ、みどり新税など市民大增税が相次ぐ一方で、税金のムダ使い、地球温暖化CO2の大量排出源となる公共事業がまかり通っています。横浜駅周辺の大型公共事業の現場をウォッチングし、横浜市の税金のムダ使いをチェックします。

■ ウォッチングコース

- ① 横浜駅再開発事業(東西に高層ツインタワー建設、駅上をデッキで連結)→②日産本社前のペDESTリアンデッキ→③MM21開発→④新市庁舎建設用地(桜木町東仲通)

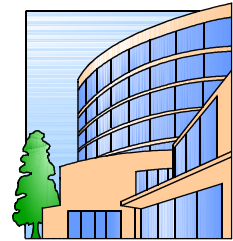
■ 集合場所・時間

13:30～15:30 中央郵便局前(横浜駅東口) ※小雨決行

■ 事前申込み制です

移動しながら説明しますので、先着50名で締め切ります。

申込先 横浜市従045(241)0005 まで

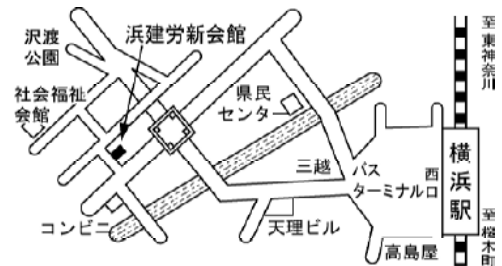


第2分科会 「誰でも納得 市民のための財政分析講座」

講師 安達智則氏(都留文科大講師)

場所 浜建労会館(横浜駅西口7分)

「市の財政は非常事態だ」「夕張のようになってしまふ」などの常套句を用い、弱者を切り捨ててきた横浜市。公正公平、受益者負担の名の下に福祉サービスを縮小、その一方で日産などの大企業には数10億円単位の大盤振る舞い。横浜の財政はどうなっているのか？ 完成したばかりの「市民のための横浜市の財政分析パンフ」を使い、執筆者でもある安達智則氏によるわかりやすい講義。



第3分科会 「雇用・労働問題」

講師 岡本一氏(神奈川労連特別幹事)

場所 建設プラザ(JR東神奈川・京急仲木戸駅3分)

「派遣切り」「期間工切り」は深刻な雇用悪化を引き起こし、日本の経済と社会の前途を危うくしています。いすゞなど民間企業や、公務職場からの報告もまじえ、人間らしく働くとは、大企業の社会的責任とはなんなのかを問う。勇気と展望の出る分科会。



こども教育分科会は2月14日(土)13時から神奈川学園中学・高等学校(沢渡公園隣 横浜駅徒歩10分)で開催します。講師は西條修光氏(日本体育大学教授)で「子どもの脳を活発に 危険認知力を育てる」と題して講演します。

他の分科会と日程が違いますので、ご注意ください。

